

2020 年度第 6 回価格審査会の開催について

2020 年度第 6 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2020 年 9 月 15 日(火) ～17 日 (木)
場 所	新型コロナウイルスへの感染防止策が引き続き必要とされていることから、上記期間中のメール会議とした
委 員	田中 弘 日本工営株式会社 技術本部 専門顧問 技師長 江川 浩 東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長 鈴木 孝之 東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 工事予算計画室 室長 辻 保人 一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長 柳 泰彦 株式会社日本設計 コスト設計部長
当 会	共通資材調査部 部長：大谷 忠広、次長：康広 誠己 建築調査部 部長：足利 全教、次長：渡辺 弘一 監査審査室 室長：後藤 裕 調査統括部(事務局) 部長：神田 尚昭、課長：菊池 信博

2020 年度第 5 価格審査会議事録(案) 確認

2020 年度第 6 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明	
1.	「建設物価」10月号、「Web 建設物価」10月号、 「土木コスト情報」秋号、「建築コスト情報」秋号の価格動向 ・価格が上伸した資材（工事費） 【Web 建設物価】 伸銅品(全都市)、レディーミクストコンクリート（岩見沢、稚内、千歳、白河、古殿、小山、市川、船橋、東京都17区、足立・葛飾、魚沼、南魚沼、富士宮A、富士宮B、島田、富士A、富士B、藤枝、敦賀、小浜、美波、須崎、越知、佐賀、唐津、伊万里、武雄、対馬）、コンクリート用骨材【砂利】（沼津、富士、御殿場）、コンクリート用骨材【砂】（札幌、苫小牧、沼津、富士、御殿場、豊橋、名護A、名護B、国頭A、国頭B、東村）、道路用砕石【クラッシュラン】（苫小牧、水戸、日立、鹿嶋、筑西、銚田、大子、沼津、富士、御殿場、安芸、四万十、杵築、国東）、再生砕石類（杵築、国東）、ストレートアスファルト（那覇）、道路用コンクリート製品（札幌、函館、小樽、旭川、室蘭、釧路、帯広、網走、留萌、稚内、千葉、松江、広島）、産業用火薬類（那覇除く全都市）、木質系床材（全都市）、鋼管テーパーポール【一般照明柱、多目的照明柱】（全都市）、燃料油【軽油ローリー渡し】（東北、近畿を除く全都市）、鉄スクラップ(全都市)など

【土木コスト情報】

市場単価：鉄筋工（福井）、砂基礎工、組立マンホール設置工など4工種（全都市）標準単価：橋梁塗装工、道路反射鏡設置工など14工種（全都市）

【建築コスト情報】

市場単価：鉄筋工（福井）、型枠工事（福井）など標準施単：屋根及びとい工事（全都市）、吹付工事（全都市）、内装工事【壁・天井】（全都市）、ポンプ工事（全都市）など

- ・ 価格が下落した資材（工事費）

【Web 建設物価】

鋼板（関東）、コラム（東京、大阪、広島）、ステンレス鋼（全都市）、コンクリート型枠用合板（中部除く全都市）、一般建築用木材【杉、ひのき、ホワイトウッド】（関東の各都市）、普通合板（関東、近畿、九州、沖縄の各都市）、燃料油【軽油パト給】（北海道の各都市）など

【建築コスト情報】

市場単価：圧接工事（那覇）、型枠工事（岐阜、静岡、名古屋、津、徳島、高松、高知）標準施単：土工事【山留め支保工】（北海道除く全都市）など

2. 比較資料

- ・ 企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問1	浄化槽で、都市名称「全国(北海道・沖縄除く)、北海道地区」の記述内容が全く同じでありながら、上伸と下落が混在するのは、どのような背景か。コメント記述にある、主要メーカーの仕様変更に伴う「値上げが浸透」と「価格体系変更」という事情が異なる背景のようだが、これらの事情に因る上伸と下落が全国的に混在しているとの理解で良いのか。	今回の価格変動要因は、主要メーカーの仕様変更（モデルチェンジ）による価格体系の見直しであり、値上げを意図したものではないため、価格が上伸している規格と下落となっている規格が混在する結果となっている。規格ごとの価格変動は全国的に同じ傾向を示している。
質問2	「土木工事標準単価」（14工種）の上伸理由として「燃料油（軽油）の値上がり」を理由としているが、これらの工事標準単価算定式においては、使用機器・重機等に用いる燃料代の占める割合が比較的大きい工種ということか。それとも、現状の燃料油（軽油）の値上がり幅が相当に大きいということか。	今月上伸した工種は単価構成に燃料油を含む工種である。人力施工などで単価構成に燃料油を含まない工種は変動していない。

質問3	鉄スクラップ(東京地区)上伸の背景の一つである輸出向け価格の上伸は、中国国内のインフラ投資需要による国際的な鉄スクラップ高との解釈で良いか。その場合、「足元では上げ一服感が台頭しており、電炉筋、輸出筋とも様子見の姿勢を維持」というコメントが成り立つということは、国際鉄スクラップ市場における中国の牽引力・影響も、既に先行き不透明感が出てきたということか。	鉄スクラップの輸出価格の上昇は、アジア圏の需要が比較的堅調に推移するなか、米国などの供給が低調で、需給がタイト化したことが主因である。国内市況の上伸により輸出価格と国内市況が均衡したため足元の上げ一服感は台頭したが、中国の旺盛な鋼材生産も続いており、輸出価格の再上昇も予想される。
質問4	レディーミクストコンクリート(東京地区)の「駆け込み注文分についても過去値上げ未達分の交渉を進め、安定調達を優先した需要家が値上げに応じた」とは、建設物価9月号記事2に掲載の「年間出荷量に相当する駆け込み注文」と、本年4月以降の注文分のすべてについて100円の値上げが成立したということか。	今月上伸は、年間出荷量に相当する駆け込み注文分に対する過去の値上げ未達分の浸透であり、4月に新たに表明された値上げ分のものではない。
質問5	コンクリート型枠用合板が2019年2～4月をピークに大幅下落しているにもかかわらず、普通合板型枠(市場単価)に変化が見られないのは何故か。	材工価格(市場単価)の価格変動は労務需給によるところが大きく、現場での型枠転用回数にもよるが、材料価格の変動が材工価格へ与える影響は限定的である。また、材料価格の変動が材工価格に影響を与えるには時間を要することが多いため引き続き注視しているところである。
質問6	コンクリート用砕石(水戸)で、「働き方改革に伴う人件費上昇などを理由に値上げ」とあるが、下水道工事市場単価の砂基礎工の「人件費上昇」も同様の動きか。	下水道工事市場単価の砂基礎工などの「人件費上昇」は、職人不足への対応や働き方改革などに伴うものである。
質問7	レディーミクストコンクリート(東京17区)で、今回約1年ぶり、また東京地区のみの値上げとなっており、コメントに「輸送および原材料費上昇」としているが、セメント(東京地区)のコメントは「前月比変わらず」となっている。上昇した原材料は骨材と考えてよいか。	東京17区では、セメントが昨年4月、骨材が昨年3月と今年4月に上伸している。協組は、この原材料上昇分と輸送費上昇分を転嫁するため、過去の値上げ未達分について交渉を進めた。

質問 8	レディーミクストコンクリート（美波地区）の小型車割増が 50%との説明があるが、何か地域特有の要因があるのか。	協組は、特に採算性が低かった小型車の運搬費用について、大幅な値上げを進めた。特に地域特有の要因があるわけではない。
質問 9	コンクリート工事（ポンプ圧送）で名古屋地区の基本料金が 50000→60000 円と大幅アップとなっている理由は何か。	東海地区のコンクリート圧送組合が 2020 年 1 月からの値上げを表明し、その一部が浸透した結果である。
質問 10	防水工事【公表価格】に同じ名称で、対象都市も同じ（全国 57 都市）で増と減の 2 つの情報があるのはなぜか。	メーカーは、出荷量減少と原材料価格の上昇による製造コストの増加から値上げを実施した。その一方で、一部の規格については、拡販を目指した営業戦略から値下げに踏み切った結果である。
質問 11	レディーミクストコンクリート（南魚沼）で、「今年の台風 19 号による災害の復旧工事が多数発注されるなか、安定調達を優先した需要家が値上げを受け入れた」とあるが、もともと 500 円の値上げを表明していたので、今後も上がる可能性はないのか。	今月の 500 円上伸で協組の打ち出し額が浸透したため、当面、協組は新たな値上げを表明する意向はない。
質問 12	一般建築用木材で、米国では DIY の活況と住宅着工の回復により住宅向け構造材の需要が急増して 9 月に 2.6 倍と急騰していると他紙に記載があったが、現在マイナスで変動している日本における一般建築用木材の価格にも大きく影響すると考えてよいか。	米国内で活況なのは 2×4 材であり、主に軸組工法で使用される一般建築用木材に与える直接的な影響は少ない。新聞報道では、2×4 工法から軸組工法への切換えの可能性についても触れているが、住宅需要自体が減少している現状では、仮にそうした事態となっても一般建築用木材のひっ迫にはつながらないと思われる。
質問 13	鉄筋工事（建築市場単価）の概要説明資料において、「福井地区で新幹線工事等の大型物件を抱える労務需給ひっ迫を背景とする専門工事業者の値上げが浸透」とあるが、東京地区では今月から虎ノ門病院を含む虎ノ門 2 丁目地区第一種市街地再開発事業の建設工事が着工となり、今後の都内の再開発事業が増加する中で、福井同様にひっ迫すると思われる専門工種は何かあるのか。	東京地区では、一部再開発事業があるものの、新型コロナの影響で設備投資計画の中止や延期などが増えており、先行き需要の不透明感が強まっている。このため、福井地区のように需給ひっ迫が予想される工種は見られない。

質問 14	<p>600 V ビニル絶縁電線 (IV)〔1.6 m m 単線〕の過去 2 年半のグラフを見ると、10 の地域が高いクラスから「北海道・東北・関東・沖縄」、「北陸・四国」、「近畿」、「中部・中国・九州」と 4 区分に分類されている。折れ線グラフの推移も上下に交差することもなくほぼ同じ波形となっているが、その理由はなぜか。また、この表以前の期間でも同じ波形となっているのか。</p>	<p>電線の価格は、主に銅建値の動きに連動した流通筋の仕切り価格により変動する。そのため、全国的に同じ動きを示すことが多い。また、流通量や運賃などの地域状況から結果的に地域間の価格差が生じている。なお、過去においてはこうした地域状況の変化から地域間格差が変動した時期もある。</p>
審議結果	<p>「建設物価」10月号、「Web 建設物価」10月号、「土木コスト情報」秋号、「建築コスト情報」秋号の価格動向に問題はなかった。</p>	

以 上